

2009（平成 21）年度私立大学図書館協会西地区部会

東海地区協議会総会 議事要録

日時：2009（平成 21）年 5 月 29 日（金）13 時 30 分～14 時 50 分

場所：名古屋外国語大学・名古屋学芸大学図書館 5 階多目的室

出席：26 館 39 名（委任状提出館 24 館）

私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会会則第 8 条 2 項により本総会成立

議事に先立ち、理事校名古屋外国語大学・名古屋学芸大学図書館長（岸）より開会の挨拶が行われた。

【議長選出】

理事校名古屋外国語大学・名古屋学芸大学図書館長（岸）を議長に選出し、下記の議事を協議した。

【議事】

[報告事項]

以下の通り、報告事項は、資料に基づき理事校から一括報告した。

1. 2008（平成 20）年度東海地区協議会事業報告

理事校名古屋外国語大学・名古屋学芸大学（守田）より総会資料（p.5-8）に基づき、昨年度は総会および 3 回の常任幹事会が行われたとの報告があり、常任幹事会での協議事項について説明があった。

2. 2008（平成 20）年度東海地区協議会研究会事業報告

理事校名古屋外国語大学・名古屋学芸大学（守田）より総会資料（p.9-11）に基づき、運営委員会ならびに「新しい大学図書館のサービス ～利用者の満足度アップのために～」をテーマとした研究会および研究集会の活動が行われたとの報告があった。

3. 2008（平成 20）年度東海地区協議会図書館サービス・システム委員会事業報告

理事校名古屋外国語大学・名古屋学芸大学（守田）より総会資料（p.12-14）に基づき、昨年度は隔年で実施している 1 泊 2 日の図書館実務担当者研修会をはじめ、委員会および各種会議の活動が行われたとの報告があった。

4. 2008（平成 20）年度東海地区協議会図書館管理・運営実務責任者会議事業報告

理事校名古屋外国語大学・名古屋学芸大学（守田）より総会資料（p.15）に基づき、「五

年先、十年先の大学図書館のあり方を考える」をテーマとした会議が行われたと報告があった。

5. 2008（平成 20）年度協会関連事項報告

1) 部会・協会関係および関連団体報告

理事校名古屋外国語大学・名古屋学芸大学（守田）より総会資料（p.16-19）に基づき、報告が行われた。

2) 協会委員会報告

理事校名古屋外国語大学・名古屋学芸大学（守田）より総会資料（p.20-25）に基づき、協会委員会の報告が一括して行われた。

- ・ 協会賞は 2008 年度該当者なし。
- ・ 研究助成は審査の結果、3 件の助成が決定し、また 1 件の研究助成辞退が生じた。
- ・ 国際図書館協力委員会の実施事業として、搬送事業、海外派遣研修、海外集合研修が行われた。
- ・ 協会ホームページ委員会の活動として、加盟館名簿のリニューアルが行われ、またガイドラインの見直しが検討されている。

3) 私立大学図書館協会 2009 年度西地区部会総会について

理事校名古屋外国語大学・名古屋学芸大学（守田）より総会資料（p.26）に基づき、報告が行われた。

館長懇話会については原則として館長のみとすることが報告された。

4) 第 70 回（2009 年度）私立大学図書館協会総会・研究大会について

理事校名古屋外国語大学・名古屋学芸大学（守田）より総会資料（p.27）に基づき、報告が行われた。

6. 新規加盟館及び館名変更について

理事校名古屋外国語大学・名古屋学芸大学（守田）より、館名変更 1 校の紹介があった。

7. その他

協会賞審査委員会の栗山委員（南山大学）より、協会賞審査委員の任期について最大 3 期 6 年とすることが決まり、後任については、必ずしも地区からの選出ではないが西地区は各地区理事校が選出することとなったと報告があった。2010 年 1 月頃までに後任の委員を選出することとなった。

[審議事項]

1. 2008（平成 20）年度東海地区協議会決算（案）および監査報告

前年度理事校愛知淑徳大学（武藤）より総会資料（p.29-31）に基づき、標記決算案につ

いて説明が行われた。修文大学の新規加盟による加盟会費、地区研究会交付金の差異、「館灯」のページ増による刊行費の超過、広告掲載の減収による差異について説明がなされた。併せて総会資料（p.32-34）に基づき、研究会、図書館サービス・システム委員会、図書館管理・運営実務責任者会議の決算案について説明が行われた。

引き続き、監事校名城大学（中山）より総会資料（p.35）に基づき、決算案について4月24日に会計監査を行い、適正であると認められたとの報告があり、決算案は承認された。

2. 東海地区協議会研究会（新組織）について

東海地区協議会新委員会ワーキンググループ代表中京大学（中河原）より総会資料（p.36-37）に基づき説明が行われ承認された。

3. 各種規程の改正について

理事校名古屋外国語大学・名古屋学芸大学（守田）より総会資料（p.38-43）に基づき説明が行われ承認された。これらの改正は、研究会、図書館サービス・システム委員会の改組に伴うもの、文言の整備等によるものである。あわせて、総会資料（p.44-47）に基づき常任幹事会において承認された申し合せ事項の改正について報告があった。

4. 東海地区協議会紀要・学内学会誌分担保存協定の廃止について

理事校名古屋外国語大学・名古屋学芸大学（守田）より総会資料（p.48-49）に基づき説明が行われ承認された。

5. 2009（平成21）年度東海地区協議会役員校および委員校（案）

理事校名古屋外国語大学・名古屋学芸大学（守田）より総会資料（p.50）に基づき、2009年度の役員校および委員校について説明があり承認された。

6. 2009（平成21）年度東海地区協議会事業計画（案）

理事校名古屋外国語大学・名古屋学芸大学（守田）より総会資料（p.51）に基づき、標記計画のとおり実施するとの説明があり承認された。併せて協会ならびに関連団体の主な行事予定が紹介された。

7. 2009（平成21）年度東海地区協議会予算（案）

理事校名古屋外国語大学・名古屋学芸大学（守田）より総会資料（p.52-54）に基づき、説明があり承認された。主な点は次のとおりである。

<収入の部>

- ・ 加盟会費及び地区研究会交付金は修文大学の加盟並びに会費算出根拠となる各加盟校学生数の変動により予算額に差異が生じた。
- ・ 「館灯」広告掲載費（p.54）については、2008年度の決算額を反映させた。
- ・ 雑費については過去2年間の利息を反映させた。

<支出の部>

- ・ 会議費は、昨年度新委員会ワーキンググループ用として加算されていた分を元に戻した。
- ・ 新たに発足する研究会の支援費については、今年度は予算額を 30 万円とした。
- ・ 図書館管理・運営実務責任者会議については、参加者負担を減らすため 5 万円の増額とした。
- ・ 「館灯」刊行費は値上げ等を見込み増額した。

8. 2009 (平成 21) 年度東海地区協議会研究会事業計画ならびに予算 (案)

研究会運営委員会委員長校中京大学 (中河原) より総会資料 (p.55-56) に基づき、今年度の事業計画と予算案について説明があり承認された。

9. 2009 (平成 21) 東海地区協議会図書館管理・運営実務責任者会議事業計画ならびに予算 (案)

理事校名古屋外国語大学・名古屋学芸大学 (守田) より総会資料 (p.57) に基づき、事業計画と予算案について説明があり承認された。

10. 2009 (平成 21) 年度以降の東海地区協議会役員校および私立大学図書館協会理事校・当番校について

理事校名古屋外国語大学・名古屋学芸大学 (守田) より総会資料 (p.58-59) に基づき、2011 年度以降の東海地区協議会理事校のローテーションの確認があった。2013~2014 年度は西地区部会長校が回ってくるため、前年度の常任幹事会において、負担等を考慮して部会長校と地区理事校は別の大学が担当した方がよいということになったため、西地区部会長校を愛知学院大学、当該年度の地区理事校を愛知学院大学の次の中部大学にそれぞれ了承してもらい、常任幹事会でも承認されたので p.59 のような表となったと報告があった。

また、2013 年度は協会の総会会場校と西地区部会の総会会場校の当番ともなっており、会場を引き受けてくださった大学に対して地区を挙げてサポートする必要があるため、加盟館の協力をお願いしたいとの要請があり、いずれも承認された。

以上

【資料訂正】

「2009（平成21）年度私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会総会」資料訂正
以下のとおり、総会資料を訂正くださいますよう、お願いいたします。

53 ページ 「2009（平成21）年度加盟会費」表中

（誤）

15	岐阜医療科学大学・岐阜医療技術短期大学図書館
----	------------------------

（正）

15	岐阜医療科学大学図書館
----	-------------

（誤）

26	大同工業大学大学図書館
----	-------------

（正）

26	大同大学図書館
----	---------

55 ページ 10 行目

（誤）

2009年度 第2回

（正）

2009年度 第2回